

令和元年10月1日発行 発行・編集／香川県高等学校PTA連合会事務局 高松市西内町7番11号 香川県高等学校PTA会館内
TEL087-851-4614 FAX087-851-4628 E-mail info@kagawa-kouren.com URL http://kagawa-kouren.com/

会長あいさつ



香川県高等学校PTA連合会
会長 千切谷 耕一郎

6月11日に開催されました令和元年度高P連総会においてご承認頂き、会長の任をお受けすることとなりました千切谷と申します。7年の長きにわたって会長を務められた泉元会長より引き継がせていただきましたことになり身の引き締まる思いですが、皆様のご協力とご指導により子どもたちが幸せな高校生活を送れるよう精一杯取り組んでまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

さて、現在子どもたちが置かれている社会は少子高齢化とそれに伴う人口減少、地球温暖化などの環境問題、人口知能等テクノロジーの進化による高度情報化といつた大きな変革の時を迎えてます。そのような先行きが不透明な時代の中にある子どもたちにとって、今後最も重要なのが道徳的な人間力だと思います。志を持ち、それに向かって努力すること。自分を律して周囲の人を敬う利他の心を持つこと。感謝の気持ちを忘れないこと。これらの価値観が多様化する社会の中でこそ、どのような目標を持って生き、社会に貢献するか、世の中を幸せにできるかといった考え方が大切になると 思います。

全国大会では、日本電産会長で京8月に京都で行われた高P連の

高校時代は礼儀礼節を含め社会人として生きる力を育む重要な期間です。よき師よき友に出会い、自己を見つめて将来の夢や在り方を考える大切な期間だと思います。今は将来について、あきらめや自己否定感が強い若者が増加しているといった統計を目にすることが多いですが、その結果を招いた我々保護者世代の責任も大きいのではないかでしょうか。子どもたちに大きな夢や目標を持つように対話し見守ること、またそれ以上に我々自身が目標をもつて生きる姿を子どもたちに見せ、ともに将来を夢見ることが非常に大切な役目だと思います。

今後も高P連といたしましては各校と連携しながら有意義な活動を展開し、会員の皆様や子どもたちにとって、より身近で信頼できる存在でありたいと思います。会員皆様のご理解とご協力を得ながら子どもたちが夢や目標を持てる環境作りに努めてまいりたいと思っておりますのでより一層のご協力とご指導をよろしくお願い申し上げます。

都先端科学大学の理事長を務められた永守重信氏にご講演いただきました。現代の偏差値偏重やブランド志向を中心とした大学の在り方に異議を唱え、人間力をもった人材育成の必要性を訴えておられました。高度経済成長期以降、我々保護者世代が体験した昭和から平成にかけての画一的な価値観が通用しない時代が到来しており、その時代を生きる子どもたちには、新たに上げたような人間力がより必要となってくると考えます。

高校時代は礼儀礼節を含め社会人として生きる力を育む重要な期間です。よき師よき友に出会い、自己を見つめて将来の夢や在り方を考える大切な期間だと思います。今は将来について、あきらめや自己否定感が強い若者が増加しているといった統計を目にすることが多いですが、その結果を招いた我々保護者世代の責任も大きいのではないでしょうか。子どもたちに大きな夢や目標を持つように対話し見守ること、またそれ以上に我々自身が目標をもつて生きる姿を子どもたちに見せ、ともに将来を夢見ることが非常に大切な役目だと思います。

PTA NEWS

高P連より
(一般財団法人香川県高等学校教育振興会主催)
第26回大学・専門学校訪問研修会
(兵庫・大阪方面)の実施

期日 令和元年10月18日(金)・19日(土)
訪問校 武庫川女子大学、神戸製菓専門学校、甲南大学、関西大学(千里山キャンパス)

高P連より
香川県高P連会長並びに教育振興会理事長が交代

今年度、香川県高P連会長並びに教育振興会理事長が、泉満氏から千切谷耕一郎氏に交代しました。
(2ページ参照)

なお、泉氏は引き続き全国高P連副会長を務め、本県高P連では顧問として運営・活動を支援していただきます。

香川県教育委員会事務局 生涯学習・文化財課より

みなおしてみませんか？ ネット・ゲームの使い方

疑いのある項目にチェックしてみましょう！

- ネット・ゲームのことばかり考えている。
- ネット・ゲームができないとイライラする。
- 前よりもネットをする時間が増えた。
- とりあえずネット・ゲームをする。
- やりすぎと知りながらも続ける。
- 最近、体がだるい。
- 睡眠不足である。
- 家族に嘘をついてネット使用する。

このような症状が現れると、危険ですね。ネット依存は今や世界的に問題となっており、今年6月WHO(世界保健機関)は「ゲーム障害」を新たな疾病と認定しました。



依存症になってしまふと、自分の意思ではコントロールできなくなってしまいます。本人任せではなく、家族みんなの問題としてとらえ、一緒にルールを考えてみましょう。

会長あいさつ	1	PTA活動紹介	3
PTA NEWS	1	志度高校、坂出高校	
令和元年度香川県高等学校PTA活動推進功労者表彰及び高P連総会	2	第61回中国・四国地区高P連大会鳥取大会報告	4
一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会		第69回全国高P連大会京都大会報告	4
PTA会長等研修講演会報告	2		



令和元年度 香川県高等学校PTA活動推進功労者表彰式及び高P連総会 一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会

6月11日、レクザムホールにおいて、令和元年度PTA活動推進功労者表彰式、香川県高等学校PTA連合会総会及び一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会が開催されました。表彰式では、工代県教育長を始め、県教育委員会、関係団体等のご来賓のご臨席をいたしました。今回退任されたPTA活動推進功労者として、表彰状42名、感謝状40名、県連本部功労者9名が表彰され、泉満会長から賞状と記念品が贈られました。

来賓祝辞のあと、受賞者を代表して三本松高校PTA会長であり、本会副会長であった名和京太郎様が謝辞を述べて式は終了しました。

高P連総会においては、
○平成30年事業報告
○平成30年事業予算案
○令和元年役員の選任
○第61回中国・四国地区高P連大会（鳥取大会）について
○第69回全国高P連大会（京都大会）について
○第2回香川県高P連研修会について
○第3回香川県高P連研修会について、本会役員より説明・報告の後、審議され全議案が承認されました。

議案について、教育振興会定時評議員会においては、
○平成30年事業計画
○令和元年事業計画
以上をもって会は終了しました。



役員名簿 令和元年度 一般財団法人
香川県高等学校教育振興会

役職名	氏名	所属校等	所属高校等役職名
理事長	千切谷耕一郎	高 松	顧 問
常務理事	安藤 航二	振興会事務局	事務局長
理事	川井 秀哉	高 松 工芸	校 長
	梶 正司	高 松 商業	校 長
	多田 幸平	観音寺第一	校 長
	細川 典宏	高 松 第一	校 長
	香川 泰造	高 松 中央	校 長
監事	久保 寿史	高 松 西	会 長
	大西 健二	丸 亀 城西	会 長

役員名簿 令和元年度 香川県高等学校PTA連合会

役職名	氏名	所属PTA	単P等職名
会長	千切谷耕一郎	高 松	顧 問
副会長	森下 恵司	三 本 松	会 長
	綾野 義博	丸 亀	会 長
	川井 秀哉	高 松 工芸	校 長
理事	松木 聰司	石 田	校 長
	福家 功	高 松 南	会 長
	村山 祐介	香 川 中央	会 長
	安藤 由香	坂 出 工業	会 長
	森江 実	善通寺第一	会 長
	多田 幸平	観音寺第一	校 長



PTA会長等研修講演会報告

これからの時代の地域協働・キャリア教育～社会が変わる、学びが変わる～
NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長 生重 幸恵 氏

県教育センターとの共催事業「令和元年度PTA会長等研修講演会」が、7月23日に香川県教育センター大研修室において、開催されました。今年度は、「これからの時代の地域協働・キャリア教育～社会が変わる、学びが変わること～」と題して、NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長 生重幸恵による講演でした。

内容を列举するに留めますが、紙面の都合により、お話を子どもたちを取り巻く環境の変化やこれから教育行政に求めたい事、教育現場への期待など多岐にわたって、終始熱く語られました。

【社会が変わる】

- 日本社会の問題点
- 子どもたちの未来
- Society 5.0で実現する社会
- SDGs（持続可能な開発目標）
- 地域が関わることによる多様な体験の場づくり
- コミュニケーション・スタイル（学校運営協議会制度）の仕組み
- 地域創生に資する高等学校改革

以上のように、今日の社会におけるキーワード「Society 5.0」や「SDGs」、それから講演のタイトル「これから時代の地域協働・キャリア教育」等々について、全国各地の事例や行政の取り組みを紹介しながら、我々に訴えかけられました。「熱いおばさんが檄を飛ばしてなんか言つていたなあ、と思つただければ」と思いました。「ぜひ、社会一体感をもつて、地域協働で皆の力を借りて、先生たちはそのプロフェッショナルとしての能力を最大限生かしていただいて、子どもたちにとって、生きていいくことは面白い、楽しい、学びって自分の人生にこんなにためになる。これから人生100年時代を生きるという人生いつからでも何度でも折り返していくんだ」と思つて高校時代を過ごして、そして大学進学へと、先生たちと保護者の応援とともに目指していただきたいと思います。」とおっしゃつて、講演を締めくくられました。



PTA活動紹介

志度高校

本校は商業科、電子機械科、情報科学科からなる専門高校です。令和元年度95周年を迎えた。敬愛・

勤労・熱誠の校訓のもと、日頃からそれぞれの科の特性を活かし、多方面で地域の方々と交流をはかりながら、地域に貢献できる学校を目指しています。

本校の学校行事に対する保護者の関心も高く、特に4月末の体育祭においては平日にもかかわらず、来校者は100名を超えて、9月末の志度高祭においても2日間で1000名を超える来校者があり、子どもたちの活躍を応援してくださっています。

本校のPTAは学校行事委員会、学校サポート委員会、広報委員会の3つの小委員会から構成され、子どもたちの学校生活を物心両面から支援しています。

4月に実施される1年生の遍路ウオークにおける運営協力では、3年連続で全行程25キロ歩かれた方もいらっしゃいました。最後尾で子どもたちを励ましながら歩く姿には、本当に頭が下がる思いでした。

前述の体育祭には生徒競技の二人三脚にチームで参加し、毎年のように1位を争い、志度高祭におけるPTAバザーの盛り上がりなど、皆さんのがバイタリティとPTA活動に対する熱い思いには有難いと同時にいてきたいと思います。



関西大学への研修旅行

坂出高校

本校は平成29年に創立百周年を迎えました。「高邁自主」のスクールモットーのもと、

厚生委員会では手作り品を作つて西学院大学を訪問する予定です。

生徒たちは文武両道を目指して多様な活動に意欲的に取り組んでいます。

他に、食

学校に対する保護者の関心も非常に高く、9月の坂高祭をはじめとする学校行事には、多くの方が訪れ、子どもたちの活動を応援してくださっています。

PTAの活動も盛んで、研修委員会、厚生委員会、広報委員会、指導委員会の4つの委員会に分かれて活動を行っており、子どもたちの学校生活がよりよいものになるように支援しています。

研修委員会では毎年PTA研修旅行を中心となつて行っています。平成30年度はバスで、関西大学を訪問し、大学の先生による説明を聞く他、学生と交流して大学生のナマの声を

と懇談して、生徒からの要望を直接聞いたりしています。

広報委員会では年2回PTAだよりを発行しています。広報委員は非公開の体育祭や歌合戦（合唱コンクール）の決勝を取り材して写真を撮るなどして、5、6回の編集会議を経て、迫力のある紙面を作り上げています。



坂高祭PTAバザー

指導委員会では坂出地区高等学校PTA連絡協議会（4高校）による登校時合同交通指導、街頭補導を行う他、親睦ソフトバレーボール大会に参加し、他校の保護者とも交流しています。

今後も各種委員会への参加を通じて会員の親睦や交流を深めながら、子どもたちが充実した学校生活を送れるようサポートしていくたいと思っています。

第61回 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 鳥取 大会報告

大会テーマ

ひらけ翼！ はばたけ未来！

（）巣立ち応援、親力！！

おやちから

7月12日（金）、とりぎん文化会館梨花ホールにおいて鳥取大会が開催され、中国・四国より約1500名、香川県からは33校58名が参加しました。開会行事の後、著書「バカの壁」、「死の壁」や「超バカの壁」で著名な、東京大学名誉教授養老孟司氏による「養老流 親との話」「たくましく生きる力」と題して講演がありました。昭和12年生まれとのことです、が、およそ82歳とは思えないほど矍鑠（かくしゃく）としておられ、90分の講演の間、ステージ上をあちらこちらと歩き回りながら話されました。内容もさることながらその元気なお姿に、まさに「たくましく生きる力」の重要性を知らされる思いでした。

登壇の後、高校生による発表として鳥取県立岩美高等学校による構成吟、鳥取県立八頭高等学校による書道パフォーマンスが披露されました。続いて、研究協議が行われ、広島県立三次中学校・高等学校による「親のせなか」の発刊について紹介がありましたが、この冊子は保護者が学校生活を振り返り、生徒たちが「いかに生きるか」という自分自身を見つめるきっかけとするためのアドバイスが掲載されています。そこで感謝（「13年を振り返って」と題して、発表がありま

した）。まず、学校の理念である「愛と奉仕」に賛同し、社会貢献活動として、特別養護老人ホームで月2回洗濯物たたみを40年以上継続しているそうです。また感謝（「13年を振り返って」と題して、発表がありま

した）。次に、学校の発展に寄与したいとの思いから、生徒募集の地図説明会やオープンスクールでは、来校された保護者との懇談会を開催し、学校の教育活動等について同じ目線で情報交換を行なうなどして、私立の学校ゆえに、より多くの生徒に入学していただきたい、学校の発展に賛同する学校です。

専門部の活動について、紹介がありました。特に、健康生活部の3年間通じた食育に関する取り組みについて、実践発表がありました。PTAの4校による「大切にしたい思春期の食生活」と題して、親から子に伝える生きる力をと題して、時間を取り組み、保護者が子どもたちの健康管理をするだけでなく、子ども達自らが栄養に関する知識を学び、自分で「作る」ことができるよう学校と協力しながら育んでいきたいと目標を掲げて発表を終えられました。

閉会行事では、西川昌孝中国・四国地区高P連会長の挨拶の後、次期開催県である広島県高P連伊福聰会長はじめ広島県高P連の方々による、趣向を凝らした広島大会への歓迎の挨拶があり、鳥取大会が終了しました。



第69回 全国高等学校PTA連合会大会 京都 大会報告

大会テーマ

Kyoから！ 未来を拓く

（）受け継ぎ、創る新たなストーリー

8月22日（木）・23日（金）に、京都市「京都市勧業館みやこめつせ」及び「ロームシアターオリエント」において、第69回全国高等学校PTA連合会大会京都大会が開催されました。大会には、香川県から33校69名が、全国からは約1万3000名が参加しました。今年度から、新たな会日程が正味1日間となりました。京都市とくことで、高P連プランは1泊2日の行程を組みましたが、いささか強行軍だったかなという感想です。

大会第1日中の午前中は京都ならではの企画として、「京の大学訪問コース（8大学）」、「京の文化財訪問コース（2箇所）」が用意され、いずれも大好評で受付開始早々に定員満杯となっていました。

第1日目の午後からは開会式に続いて表彰式が行われ、香川県関係では全国高P連会長表彰で2団体と2名の方が表彰されました。参加者は、6つの分科会会場に分かれてい場しておらず、ロームシアター・メインホールで行われている開会式及び表彰式は、他の会場へは映像配信されました。

その後に行われた分科会は、新開催ガイドラインに沿って、分野にとらわれない開催地が選定したテーマで4分科会、全国高P連が選定したテーマで2分科会の計6分科会が開催されました。パネルディスカッション、グループワーク、ワーキングショップ等、各分科会いずれも工夫された内容で、充実した研修となりました。

大会2日目には、記念講演と分科会報告、閉会式が行われました。記念講演は、日本電産株式会社代表取締役会長 永守重信氏による「学校教育・家庭教育に思うこと」と題した講演でした。永守氏は、すでに75歳にならますが、迫力ある話ぶりで参加者は終始圧倒されっぱなしでした。28歳の時に従業員3名で起業されましたが、今や資本金87.8億円、従業員約14万人（43ヵ国、グローバル）で27社の企業に育て上げ、実績にて付けられた話は説得力でした。いたび幸らつな言葉を發しておられ、保護者の胸に突き刺さつていました。



今大会のアトラクションは、第1日目に京都府立工業高等学校吹奏楽部によるマンボウワジヤズ演奏、第2日目には2会場に分かれて、京都府立塔南高等学校によるマーチング・バンド演奏、京都府立鳥羽高等学校によるマーチング・バンド演奏を行なされました。第2日目のアトラクションも時間はずらして公演されました。

各会場へは映像配信されましたので、いずれのアトラクションも観覧することができます。どのアトラクションもレベルが高く、披露してくれた高校生には心から拍手を送りました。

閉会式では、大会実行委員長から参加の皆様に感謝の言葉が述べられ、次期開催地の島根県へ全国高P連旗が引き継がれました。



祝 表 彰
～おめでとうございます～

京都大会において香川県より受賞された個人・団体表彰の表彰者(校)は、次のとおりです。



名和京太郎 様
(三本松高校前PTA会長)
単P会長2年
県高P連副会長2年



國時 忠能 様
(丸亀高校前PTA会長)
単P会長2年
県高P連副会長2年



三本松高校PTA 農業経営高校PTA

高校生総合保障制度

引受保険会社 : AIG損害保険株式会社

〈担当代理店〉 (有)アワード TMG (トータルマネジメントグループ) (株)アイネクスト